

被災状況（警察庁まとめ 5・22A、Y）

- 死亡 1万5170人（宮城9064、岩手4468、福島1574・・・）
- 行方不明 8857人（宮城5359、岩手2984、福島510・・・）
- 避難者 10万9561人（岩手3万1337、宮城3万0647、福島2万4172・・・）
- 避難所 2437（宮城404、岩手342、福島124、その他1603）

日中韓首脳会談一原爆温存連合への思惑がらみか

- 日中韓三国首脳、福島市内避難所視察
 - 震災倒産102社（負債総額約602億円）一帝国データバンク調査一直接被害倒産13社、取引先被災で倒産89社／地域別一東京15社、岩手・宮城・福島3県計20社／業種別一「旅館・ホテル」13社、自動車関連企業10社（5・22A）
- 5・22A「原発爆発後大量汚染を想定一米軍、全面支援リスト」「支援リスト、米の危機感」「3首脳まず被災地一執念のそろい踏み、安全訴えたい日本一自主的訪問こだわり、関係改善図る中国一調整遅れに苛立ち、痛み共存する韓国」「原発是非欧州二分一ドイツ、脱却は国民的な合意一フランス、大統領は推進に固執」
- M「地元任せ、被災者疲弊、福島原発区域指定1ヵ月一『警戒』、一時帰宅実施わずか99世帯／『計画的避難』、今月中の完了困難に／『緊急時避難準備』、国の支援乏しく」「3首脳福島入り、曲折へて菅首相『執念』一政府『風評被害吹っ飛ぶ』、中韓『お見舞い』と決断一被災主婦、感激で涙」
- Y「義援金支給3割、被災3県一戸籍流出、職員被災、宮城わずか5%」
 「人手不足届かぬ義援金、『貯金が底つく』被災者悲鳴一家屋被害調査にも時間」「統一選敗北執行部に批判、民主全国幹事長会議一岡田幹事

長、辞任否定—地方組織『菅降ろし』に反発も」

N「**検証、総力戦で工場再開**—東北手探りの復興、現場からの報告—農漁業再生、一歩ずつ—仙台、徐々に活気、『三大夏祭り』は予定通り—原発事故、苦しむ福島、風評被害収まらず」

T「**メンツ争いの放水**—大量放水、当面の危機は回避—3月17日午後7時5分～19日午前0時30分」「保険金支払い2.6兆円—生損保や共済、過去最大の見通し—東日本大震災」「**世界原発不信、福島事故の今海外報道**—日本は『検証遅い』『情報開示を』」「**メルトダウン『常識です』！？**—『御用が業者』の本音と建前」

H「**科学者の知恵の結集こそ、立命館大名誉教授・安斉育郎さんに聞く**—原発依存大転換のとき」

→5・22 各紙社説

A「**北欧が示す未来図**—自然エネルギー—社会へ」

M「**震災と日中韓—融和から協力深化へ**」

Y「**オバマ中東演説—和平へ導く具体策がほしい**」／「**IMF専務理事—欧州の『指定席』見直すべきだ**」

N「**TPP先送り『平成の開国』の看板が泣く**」／「**中東外交転換めざす米大統領**」

T「**20年後を想う危機感—週のはじめに考える**」

H「**沖縄新基地計画—『基地なくせ』の願いに応えよ**」

5・22 被災状況（警察庁まとめ 5・23Y）

死者 1万5179人

行方不明 8803人

避難者 10万9008人

避難所 2465

5・22 日中韓三国首脳会談、首脳宣言

<首脳宣言のポイント> 85・23M)

- ①東日本大震災に深い哀悼の意を表明
- ②困難な状況を乗り越えようとする日本の努力を支える
- ③福島第1原発事故を受けた日本製品の安全性に関しては科学的証拠に基づき慎重に対応
- ④日中韓FTAは日本の国内事情を考慮しつつ検討
- ⑤原子力エネルギーは多くの国にとって重要な選択肢
- ⑥原発の自然災害対応で専門家協議を推進
- ⑦大規模災害では相互に最大限の支援
- ⑧北朝鮮のウラン濃縮計画に懸念を表明

5・22

普天間移設「現行計画で」一米キャンベル国務次官補、防衛省・防衛相高官と会談（東京）一会談後の記者会見「日本の外務省、防衛相、首相官邸

との協議で現行計画を推進することを明確にした」（5・23Y）

22年までに脱原発のドイツに学ぶべきだ

→5・23M「風評被害防止へ協力、日中韓首脳会談一原子力安全推進も一中国輸入規制緩和を表明」『炉心3時間半で大半溶融、福島1号機一米専門家、3月下旬に推定』

Y「原発避難23校『休業』一移転先確保できず、児童・生徒5000人散り散り」「独『22年までに脱原発』一首相、目標時期に言及、与党内『隣国頼り』批判」

H「原発事故一問われる政党の立場、どうする国民の命と未来一政権・民主、『反省』するも脱却できず一自民、自民・公明、責任に口つぐみ開き直り」

→5・23各紙社説

A「中日韓協力一震災での絆を土台に」／「青森知事選一原発論議を深め

よう」

M「ハーグ条約加盟一子供の利益を前提に」／「技量審査場所一力士の『心』の鍛錬を」

N「震災協力を機に中韓と共助の関係を」／「主婦の年金救済は公平貫け」

T「隣人の支えを糧に一東日本大震災と日中韓」

H「『君が代』強制条例一民主主義と教育の条理に逆行」

5・23 被災状況（警察庁まとめ 5・24A）

死者 1万5188人

行方不明 8742人

避難者 10万8672人

5・23 国家公務員給与「減額」一政府と連合系労組が合意

一一般職給与を2013年度まで5～10%減額すること（5・24M）

→5・25H「国家公務員人件費で割減、地方、民間626万人に影響一賃金減7兆円・消費減5.2兆円一復興にマイナス、労働総研試算」

→5・23Aタ「仮設校舎着工7校分のみ、被災3県一街の将来未定・土地不足」
「汚染水移送先満杯寸前一2・3号機、たまり水対策難航」

Mタ「また放射線悔しい一広島で被爆、福島81歳一特養入所、避難できず」
「特集ワイド・『原子力村』の司令塔的専門家集団一口を出しても執行権限なし、旗を振らない安全委一規制官庁との二重チェック機能しないまま3・11一『決定尊重』の条文削られ、保安院との総合検討も」

Yタ「首相『注水止めていない』一衆院復興特別委、東電から報告なし」
「警戒区域内18人残る一『母の移動ムリ』『家畜置いては』一指定1ヵ月、非難説得にも拒否」

Tタ「脱原発唱える元技術者、『正しく恐れ行動すべき』一福島、浜岡設計を担当、思い上がり反省」

→5・24A「210避難所土砂災害の恐れ、国交省調査一びひ割れ25ヵ所」

「発言訂正記憶頼り一海水『再臨界危険性』→『ゼロではない』、斑目

- 氏発言めぐり混乱―自民、国会で追及」
- M** 「ドイツ、緑の党また躍進―ブレーメン州第2党、『福島事故が影響』
「安全頼りは線量計―福島市放射線恐れ外で遊ぶ子供の姿消え、無料貸し出し父母殺到」
- Y** 「『宮城応援職員』を長期派遣―18都県100人、施設復旧に従事」「3月期特損―1221社5.9兆円」（東証1部上場企業、5・20まで決算発表の1267社を対象に集計―SMB C日興証券のまとめ）
- N** 「『報復』テロ連鎖拡大、南アジアに波乱の芽―タリバン、パキスタン基地襲撃」
- T** 「校庭線量上限撤回を―『20ミリシーベルト高い』福島の保護者直談判―大臣面会せず、文科省『1ミリシーベルトに努力』」
- H** 「宮城県医師会被災状況調査―全・半壊186、いまだ35機関で診療できず…、子の地で再出発したい―民間医療再建に公的支えを、補助2分の1では困難」
- 5・24 各紙社説
- A** 「原発事故調査―第三者機関で解明を」／「水産特区構想―新たな漁業のモデルに」
- M** 「海水注入問題―原発に政局持ち込むな」
- Y** 「放射能汚染―綿密な健康調査で不安を拭え」「みずほ再編―改革加速し信頼回復を図れ」
- N** 「サミットを日本の信頼回復の好機に」／「みずほは改革の速度上げよ」
- T** 「菅内閣要職発言―『言っていない』に辟易だ」／「専業主婦年金―これで公平性保てるか」
- H** 「被災者支援―住民の希望支える万全の策を」

布川事件再審無罪判決と福島原発情報隠しと

- 5・24 布川事件再審無罪―水戸地裁土浦支部（神田大助裁判長）、強盗殺人で無期確定・服役の元被告・桜井昌司氏（64）と杉山卓男氏（62）に対し無罪判決―1967・8 事件発生から 44 年（5・24 各紙夕刊）
- 5・24 東電、「2,3 号機メルトダウン」の暫定分析結果を発表―地震後 60～100 時間後に 1 号機と同じように炉心溶融起こした可能性ありと発表（5・24A 夕）―報告書全体像 5・24N）
→5・24M 夕「2,3 号機も大半溶融、福島第 1 原発―東電分析『容器損傷限定的』―甘い推定、専門家批判」／Y 夕「炉心溶融早い段階で、東電報告書―1 号機、地震 15 時間後燃料崩壊―2 号機、海水注入でも空だき状態―3 号機、注水停止一気に悪化」
- 5・24 大卒就職率、最低 91%―文科省、厚労省発表、今春卒業の大学生の就職率 91.1%、1997 年以降で最低―「就職氷河期」の 00 年に並ぶ（被災 3 県含まず）（5・24A 夕）
→5・24M 夕「大学就職率過去最低タイ―被災地悲鳴『就活なんて』、他地域にも震災の影」
- 5・24 被災状況（警察庁まとめ 5・25A）
- | | |
|------|-------------|
| 死亡 | 1 万 5202 人 |
| 行方不明 | 8718 人 |
| 避難者 | 10 万 9394 人 |
- 5・25A「原子力村は伏魔殿―神話の影に、福島原発 40 年①」「産・政・官・学・広大な『村』―発送電分離の動き阻止」「原発耐震検証が必要―配管破損原因分析を一遅い認定、東電も国も、『メルトダウン』『事故レベル 7』」「44 年待った無罪―布川事件再審、自白の信用性否定―強要、誘導の可能性を指摘―『だんだん体軽く』『力抜けちゃった』」「捜査改革半ば―『全過程可視化を』日弁連会長会見」

M「全面可視化改めて課題、布川事件再審無罪一『編集テープ』決め手に
一検察冷静『影響ない』、録音・録画進む導入」「念願かなった一誤審原
因判決触れず一桜井さん・杉山さん、怒りあらわに」

→5・25Mタ「被ばく検査 20 万人に、4 月以降全員『異常なし』一『福島
から来たというといやがられるのでは…』」「貿易赤字 4637 億円、4 月統
計一震災で輸出大幅減」「海水注入事前に通告、東電一水素爆発の 16 分
前」「初の全面可視化一東京地検、特別背任事件取り調べ」

一Yタ「原発から 23 キロでも警戒区域一境界、地区単位で設定一福島・
など、住民に不満」

一Aタ「野生動物でも被曝量調査一福島県 10 年計画一『人間の未来占う』」

→5・25 各紙社説

A「公務員給与一『身を削る』を評価する」／「布川事件再審無罪一検察
に改めて問う正義」

M「校庭の放射線量、できるだけリスク減を」／「布川事件再審一速やかに
無罪確定を」

Y「原発事故調査一『大失敗』の原因を究明せよ」／「布川事件再審一冤
罪生んだ恣意的な証拠開示」

N「原発事故の早急な解明は世界への責務」／「冤罪を生んだ刑事司法の
罪」

T『原発事故調査一世界に事実を知らせよ』／「布川事件無罪一司法全体
に猛省がいる」

H「布川事件再審無罪判決一『司法の犯罪』を繰り返すな」

大阪橋下知事流の異常一君が代条例案の上程強行

5・25

大阪府議会、君が代条例案提出一大阪府橋下徹知事与党『大阪維新の会』
府議団、教員に君が代の起立斉唱を義務づける全国初の条例案提出（5・

26A)

→5・26A 「狙いは起立厳格化―橋下氏主導、君が代条例案提出、『思想でなく組織の問題―免職ルール化へ』「教員の不起立全国で激減―教育現場『なぜ今さら』」

5・25 スイス政府、脱原発宣言―国内5基の原発の寿命を迎える 2034年までに廃炉とし、改修や新規建設しないとの国家目標決める (5・26A)

→5・26A 「原発、EU―斉検証へ―災害・テロ、統一検査項目―範囲めぐり各国綱引き」

5・25 被災状況 (警察庁まとめ 5・26Y)

死者 1万5217人

行方不明 8666人

避難者 10万3021人

避難所 2439

→5・26A 「『原発反対』各国で拡大―7カ国世論調査、日独中韓は大幅増―日本 (賛34%、反42%)、米国 (賛55%、反31%)、フランス (賛51%、反44%)、ロシア (賛36%、反52%)、韓国 (賛44%、反45%)、ドイツ (賛19%、反81%)、中国 (賛51%、反48%)

→5・26M 「虚偽証言強要の疑い、さいたま県警―買収事件19人に、接待『無料で』と調書―深谷市議選・選挙違反」『『うそ言えば帰れる』埼玉県警証言強要の疑い―『逮捕されるかと』住民、連日厳しい聴取』→5・26Mタ 「虚偽証言強要疑惑―会費払い確認メモ、参加者ら『書いた』」

→5・26N 「巨大地震『400～600年おき』―東海・東南海・南海3連動級―海岸の化石調査し判明、産総研など」／T 「2000年前高知で巨大津波―堆積物を発見、M9クラスか」

→5・26Y 「海のがれき漁師苦悩―冷蔵庫、流木・網が破損、除去に数ヶ月以上」給食まだ戻らず、被災8市町―『パンと牛乳』栄養不足心配、『すぐお腹すく』／Yタ 「1000万個に太陽光パネル―OECFで菅首相演説、

原発教訓に伝達『責務』ーサミット今夜開幕

→5・26A 夕「連合、原発推進を凍結ーエネルギー政策見直し」

→5・26 各紙社説

A 「原発・東電調査ーもっと権限を与えよ」／「大阪起立条例ーあの一票は何だった」

M 「原発事故調設置ー独立性確保し解明を」／「年金改革ー現実的な案に絞っては」

Y 「東北の水産業ー大胆な改革で沿岸漁業再生を」／「大卒就職難ーやりがいのある仕事を探そう」

N 「電力需給の『見えるか』で効率的な節電を」／「原発避難者の健康調査急げ」

T 『大卒就職率最低ー抽象企業にも夢がある』／「オバマ中東外交ー際立つ米国のジレンマ」

H 「IMF 専務理事ポストー世界の変化を踏まえた改革を」

5・26 海水注入、「実は継続」ー東電、1 時中断してきたと説明してきた福島第 1 原発 1 号機の海水注入を実際には中断せず継続していたと発表ー第 1 原発吉田昌郎所長の判断で (5・27A)

→5・27M 「東電注水『中断なかった』福島第 1 原発ー所長独断、報告せずー政府情報管理に疑問」「東電説明謎多くー所長『冷却が最優先だった』、本店『官邸の空気を読んだ』」／Y 「『東電信用できない』注水中断訂正ー被災者ら怒りの声、政府にも厳しいまま批判」

5・26 G8 (主要国首脳会議)、仏北部ドービルで開催ー1 A E A 強化、原発、情報対策で一致 (5・27A)

→5・27N 「G8、日本に厳しい視線ー原発、情報開示に不満ー震災復興支援では協力」

5・26 被災状況 (警察庁まとめ 5・27Y)

死者 1 万 5234 人

行方不明 8616 人

避難者 10 万 2484 人

避難者 2439

→5・27Y 「『海水注入』二転三転—政府『東電任せ』原因、国際社会の不信拍車も—『海水注入』客観データなし」

→5・27H 「原発以上に未熟で危険—青森・六ヶ所村再処理工場—放射能を大量に放出、臨界・爆発事故多発、核燃料を大量に貯蔵—直下でM8 級地震も」「がれき処理、自治体不安—『財政は国が全責任を』—宮城・石巻市では 100 年分」

→5・27 各紙社説

A 「新エネ目標—太陽と風で挑戦しよう」／「天然ガス協力—脱・原発依存に生かせ」

M 「エネルギー目標—国民合意形成に全力を」／「世界記憶遺産—歴史の重さ示す炭坑画」

Y 「新エネルギー策—安全性高めて原発利用続けよ」／「刑事司法改革—時代に合う捜査方法の検討を」

N 「これで原発情報への不信がまた募る」／「自然エネルギー拡大の条件」

T 「自然エネ 20%—目標倒れは許されない」／「警察の調査—までも捜査に疑惑が」

サ 「『4 つの挑戦—実現の具体性欠け無責任』／「電力使用制限—実態に即し柔軟な対応を」

H 「農業委員選挙—再生の担い手を増やす機会に」